

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	780-1404
平成18年度部名	環境保全部	課名	津久井環境課	課長名	柳川 宝
平成19年度部名	環境保全部	課名	津久井環境課	課長名	江成 博
事務事業名	野生鳥獣保護管理事業				
予算上の事務事業名	鳥屋猟区運営事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21110		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくれます				
基本施策名	第1節 地球環境の保全に向けた取り組み				
施策名	第1施策 総合的な環境施策の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律、鳥屋猟区の維持管理に関する協定（平成15年11月1日締結）、鳥屋猟区管理規定				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	施設運営	▼	5 事業開始年度	平成18年度	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）
狩猟鳥獣の生息数を確保しつつ安全な狩猟の実施を図るため、鳥屋猟区の管理運営を行う。					委託団体
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。	生息環境整備、登山道管理、放鳥業務、券買業務、案内板等修繕、巡視業務、捕獲と狩猟の調整について鳥屋鳥獣保護協会へ事務委任した。				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費			5,692	5,129	4,566
一般財源			2,846	2,283	2,283
受益者負担金			2,846	2,846	2,283
その他の特定財源			0	0	0
人件費の合計			2,415	2,415	2,415
事業コスト合計			8,107	7,544	6,981
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	鳥屋猟区委託料			対象名称 と単位	委託団体数
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)			1,890	1,365	1,365
対象数			1	1	1
単位あたり経費(円)			1,890,000	1,365,000	1,365,000
前年度比			#DIV/0!	0.72	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	鳥屋猟区運営事業収支率	指標式と指標の説明	総入猟料/委託料		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			0.8	0.0	0.0
目標			0.8	0.8	0.8
目標達成度（％）			100.0	0.0	0.0
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	1日当たりの入猟者数	指標式と指標の説明	入猟者数/開設日数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			10.2	0.0	0.0
目標			10.2	12.0	12.0
目標達成度（％）			100.0	0.0	0.0
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		津久井町鳥屋猟区の開設は市が行っているが、狩猟者の減少による収入減などの猟区運営が厳しい状況にある。また鳥獣の適正保護管理の観点からして猟区の運営方法も見直す必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥屋鳥獣保護協会構成員の高齢化による巡視員及び案内人の確保</li> <li>・狩猟者の減少による収入の減少</li> </ul>		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			